

第1回学校運営協議会議事録（ご意見のまとめ）

1 意見交流

（1）働き方改革

- ・勤務時間について、夜11時に自動車の窓ガラスが割られる事件があった。教師は夜11時に仕事をしているのが日常化している。一般企業では8時間勤務、教師は15時間勤務は、異常です。夜10,11時にいつも電気が点いている竹鼻小・竹鼻中、これで顧客満足度が上がっても…。スタートが良くても、生徒も先生もバテてしまう。夏休みにも色々な行事があり、吹奏楽部などのボランティア依頼をしているので、心苦しいが。
- ・昨日の5月1日は「世界メーデー」。1日24時間、1/3は勤務、1/3は休む、1/3は自分の時間。長年かけて労働者の権利を勝ち取ってきた歴史がある。
- ・SSK(スイスイ帰ろう水曜日)と月1回のFD(ファミリーデー)。仕事の軽重、切りかえ、見通しをもって仕事をするように意識改革をしている。
- ・ひと月80時間以上の超過勤務。

（2）授業参観・学習・地域の教育

- ・1年5組の数学・川本教諭の授業のように、生徒へ声が届き、わかりやすい授業を心がけてほしい。教員としての職業は、地域の子どもを育てる意識をもちたい。
- ・羽島高校では、50%が羽島市出身。あいさつができ、マナーがよい。竹鼻線で登校する生徒（他市町からの生徒）が心配。最近、やんちゃな生徒は少なく、「暖簾に腕押し」や不登校傾向、発達障がい等の特別な支援の必要な生徒の対応が増えている。

（3）部活動

- ・部活動は、羽島市部活動指針に従って実施。週2日は休む。土,日,休日は半日。夜練や休日の活動は、育成会が主となり、部活動の補完を目的とする。
- ・他市町の中学校との格差がみられる。
- ・技術面だけでなく、精神面の弱さが目立つ。社会人でも、注意したら次の日は欠勤する等。個性の伸長を目指したいが…。
- ・岐阜市では、平成30年度から、社会人コーチも公式戦が成立するようにした。また、夏休みも社会人コーチだけで活動は成立する。ただし部活動は2時間。
- ・教職員の負担軽減を目指す。
- ・長時間やればよいわけではない。コーチングの差である。人材活用を効果的にしたい。

（4）地域に開かれた竹鼻中

- ・不登校傾向生徒の早期発見・即対応に関わって、家庭状況の把握や保護者対応など、民生児童委員を活用してほしい。
- ・地域行事に関わって、吹奏楽の演奏や祭り・地域ボランティア等に、中学生の活躍する場が多い。地域で育てるという観念が大切。

2 学校運営協議会の運営（※別紙参照）

3 学校経営の方針、学校運営協議会の運営案 → 可決